

基金・特別会計

基金の状況(平成7年3月31日現在)

(単位:千円)

基金名	預金	土地	国債	計
国際交流基金	100,000			100,000
地域づくり基金	185,797		98,703	284,500
市債管理基金	735,155			735,155
財政調整基金	849,197			849,197
社会福祉基金	30,483			30,483
地域福祉基金	371,391			371,391
奨学基金	3,329		44,750	48,079
教育振興基金	5,060		10,000	15,060
資料館その他教育施設整備基金	5,984			5,984
土地取得基金	107,858	656,829		764,687
国民健康保険給付準備基金	402,289			402,289
文化施設等整備基金	533,243			533,243

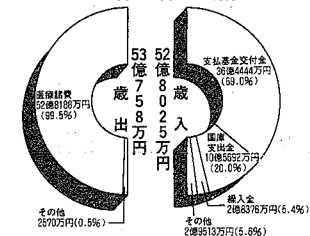
基金はなぜ必要?

地方公共団体の財政を運営するとき、皆さんの家計と同じように、その年の収入だけでなく、翌年以降のことも考えておかねばなりません。

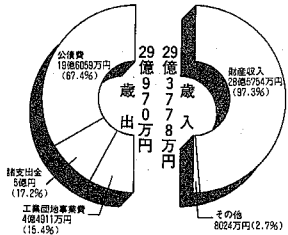
いつ経済事情の著しい変動や災害などにより財源不足になるか分かりません。国民健康保険の給付など長期にわたって財源が必要となきや、大規模な建設事業を行うときなど、その財源を地方債(借金)だけで賄えば財政運営に混乱を招きます。こんなことのないよう、財源に余裕のあるとき、「基金」に積み立てておきます。

基金の状況は、左の表のとおりです。

老人保健特別会計



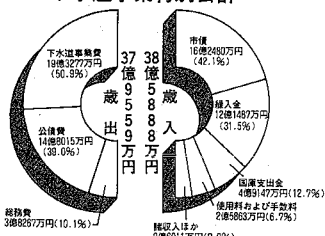
工業団地造成事業特別会計



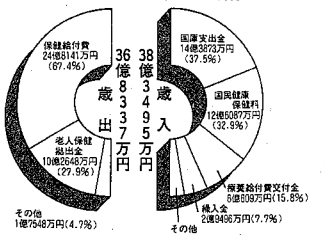
公共用地先行取得事業特別会計

歳入 1763万円 歳出 1758万円

下水道事業特別会計



国民健康保険特別会計



農業集落排水事業特別会計

歳入 1653万円 歳出 1534万円

特別会計の決算見込み

特別会計は、特定の歳入を特定の支出に充てて、一般の会計と区別して経理する必要がある場合に設けられます。本市では、下水道事業、国民健康保険、老人保健、工業団地造成事業、公共用地先行取得事業、農業集落排水事業が特別会計になっています。

これらの特別会計の決算見込み額は、左のグラフのとおりです(一万円未満の数字は四捨五入してあります)。

お買物、ご用命は市内で

動物も家族の一員です。



診療時間
平日
AM 9:00~12:00
PM 1:00~3:00
PM 3:00~6:30
土曜日
AM 9:00~12:00
PM 1:30~3:00
日・祭日(予約)
AM 9:30~11:30

外来受付
手術時間
手術時間
外来受付
外来受付
外来受付
外来受付

案内
犬・猫・小鳥・小動物診療
内分泌科
皮膚科
犬人工授精科
動物コンサルタント
処方食・フード
グルーミング
ホテル

院内
花光道路
至五泉
秋葉公園
マンション 老人福祉センター

小島動物病院 秋葉2丁目(秋葉公園入口) Phone 24-2223

平成6年度決算見込み

グリーンセンター



平成6年度の主な建設事業

- ▷グリーンセンター建設事業 31億3275万円
- ▷公共下水道事業 19億2808万円
- ▷道路改修事業 11億7059万円
- ▷金津丘陵ふれあい文化ゾーン整備事業 2億8095万円
- ▷緑の遊歩道ネットワーク事業 2億4810万円
- ▷在宅福祉施設建設事業 2億1916万円
- ▷第二中学校整備事業 1億5687万円

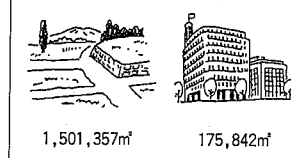
事業別の市債現在高

(平成7年3月31日現在)

道路・橋りょう	35億3602万円
公園	16億1664万円
排水路	7億7467万円
街路住宅	3億4864万円
義務教育施設	5129万円
幼稚園	27億2903万円
保健体育施設	2億4582万円
図書館・公民館	1億5734万円
市民会館	1億1222万円
社会福祉施設	4698万円
保育所	3億4112万円
クリーンセンター	8009万円
庁舎	31億0890万円
保健福祉センター	15億2011万円
公共用地先行取得	12億4380万円
石油の里	10億5790万円
花と緑のふるさと公園	8億6835万円
減税補てん償	5億2630万円
消防防災	4億5000万円
農林業施設	3億8833万円
清掃施設	2億7865万円
労働費関係	1億4524万円
その他	4878万円
一般会計合計	10億9807万円
	207億7429万円

市の財産(平成7.3.31現在)

土地 建物



市債の状況

厳しい市の財政
健全運営に努力

市債は、一般家庭で言えば借金やクレジットに当たるものです。平成6年度の歳入のうち、「二・七」が市債で賄われ、前年度比一〇・二％増の五十三億四千三百万円になりました。増加の主なものは、今年度に完成予定のグリーンセンターの建設による起債や、金津丘陵ふれあい文化ゾーン整備などの起債が増えたことによりです。

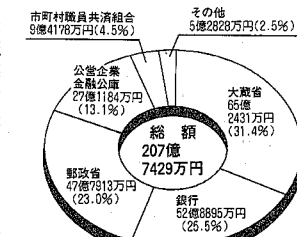
平成七年三月三十一日現在の市債残高は、一般会計で二百七億七千四百二十九万円になり、公債費比率(一般家庭で言えば、クレジットなどの返済額が収入に占める割合)は、前年度の二四・一％から一五・〇％に増加しました。

また、市の財政が健全な運営をしているかどうかをみるのに、経常収支比率(下の用語解説を参照)があります。本市は、特別減税の影響などにより前年度の六九・八％から八〇・六％に増加しました。

国民年金や簡保資金からも融資

市の施設などを建設するとき、厚生・国民年金や簡保保険などの積立金の一部を国から融資してもらっています。主なものは、次のとおりです。

市債の借入先の状況(一般会計)



※1万円未満は四捨五入してあります

水道事業(6億7110万円)

財政用語解説②

【経常収支比率】 人件費など毎年ほぼ一定して支出される経費(経費)を、経常一般財源で割り、百分率で表したものが「経常収支比率」です。おおむね七〇・八〇％に分布するの一般的な傾向です。百分に近づくほど自由に使える財源がないということで、投資の事業をやれないこととなります。

お買物、ご用命は市内で

肌着・化粧品

資生堂チェーンストア

本町2丁目

マツヤ

第四銀行が向かい、北越銀行がとなり。

(22)0418
(23)0630
フリーダイヤル
0120-130630

内科・小児科・レントゲン科

大坂医院

新町1丁目6-12 TEL 245122